

**第2次南あわじ市総合計画後期基本計画(案)に対する意見と市の考え方**

◆意見公募期間：令和4年2月4日(金)から令和4年2月17日(木)まで

◆意見提出状況：意見提出者1名 意見提出数1件

※意見分類(①全般事項、②めざす姿、③現状と課題、④まちづくり指標、⑤施策の展開、⑥役割分担のあり方、⑦提案事項等)

意見書 番号	意見・提言等	意見分類	該当 ページ	意見に対する市の考え方
1	<p>本計画において、市民の役割分担の在り方が提示されている。ただ、市民の多くは、そういう計画が作られているということ、そのなかで市民の役割分担の在り方があるということなど、当事者であるにもかかわらず、知らされておらず、知らないというのが現状であると考えます。</p> <p>パブリックコメントで市民の声を聞いているというのはわかります。ただ、それだけで市民の声を聞いているといえるのでしょうか？また、本計画のなかで、市政が考える「市民の役割分担」「地域の役割分担」は市民や地域に届いているのでしょうか？そこで、行政が作成する計画のなかで、総合計画に関わらず、市民が関連している計画については、一部の有識者だけではなく、当事者である市民とともに考えて、作っていくことが良いのではないかと考えます。そのため、以下のような提案をさせていただきます。</p> <p>1. 今後の計画作成における市民向け説明会・WSの開催および、その目標開催回数を決める。 例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧町別や地域別に関連する部門については、説明会等を開催して、地域や市民の意見を聞く</li> <li>・教育については中学高校での生徒に向けて、説明し、意見を募る</li> <li>・年代別や職業別、子育て家族向けなど、当事者共に考えるWSの開催</li> </ul> <p>2. 市公式のSNSでのパブコメ募集の通知および市民へのリーチ数などの目標数値を決める。 市民の方は、市のHPよりも市公式のSNSを見る機会の方が多いと思います。上記計画のような、市民に関わるパブコメについて、募集している旨をSNSで告知し、より多くの市民から意見を募集する。</p> <p>3. パブコメ件数そのものに目標値を立てる。 市のHPや広報にてパブコメを募集するだけでは、市民の目に届きづらいところがあるので、パブコメ件数そのものを目標値とする。件数が増えるほど、市民の関心が高まっていると考えられる。 そのために、役割分担の在り方として、行政はより多くの市民に見てもらふこと・関心を持ってもらうこと。市民・地域は、市政や将来のことに関心を持ち、意見すること。というようにも考えられる。</p>	⑦	-	<p>これまでの総合計画の策定にあたっては、本市を支える業界団体や市民、地域団体を中心に各分野の見識を有する方により構成する「総合計画審議会」において、市民アンケートによる市民ニーズを把握しながら、策定して参りました。今後は、こうしたことに加え、計画策定段階において、より市民のご意見等が反映できるよう、ご指摘のことを踏まえ対応したいと考えます。</p> <p>また、今後、住民への発信については、YouTube、facebook、Twitter、InstagramといったSNSによる広報・コンテンツの更なる充実により、より市政に関心を持っていただけるようにするとともに、市外の人にも南あわじ市に興味・関心を持っていただくコンテンツ作成にも努めます。</p>